

平成27年度第1回青梅市図書館運営協議会会議録

平成27年4月16日（木）午後6時～
中央図書館ボランティア室

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 平成27年4月1日付け人事異動について

（事務局） [資料1に基づき説明]

(2) 平成26年度図書館事業実施結果について

（事務局） [資料2に基づき説明]

（委員） 補修する本の数はどのくらいですか。

（事務局） 簡単な補修で済むものが多いんですけど、1日20冊弱です。

（事務局） ブックポストに返却された本を毎朝点検すると、ページを開いたときに割れてしまう本やページが破れている本などがみつかります。動く絵本は修理が大変ですね。

（委員） 窓口よりもブックポストに返却されることが多いのでしょうか。

（事務局） 経年劣化による傷みが背表紙に出るので、窓口で貸出されたときにはつながっていたけれど、返却されたときには剥がれていたということが多くなっています。傾向としては、ブックポストが多く、児童書が多くなっています。

（委員） 頻繁に貸出されている本が修理の対象になるということはあるんですか。

（事務局） 児童書は、頻繁に貸出されて修理となる本が多いと思います。一般書は、経年劣化により修理となる本もあります。

（委員） 学校では、新しく買っても人気がある本は、劣化が早

いですね。人気がない本は、新しいまま、5年くらい経ってもそのままということもあります。

(委員) 学校では、どのように修理をされるんですか。

(委員) 図書ボランティアの方、図書館支援員の方に修理していただいています。

(委員) 本の取扱いも含め、マナーという点から見ると、昔と違いますか。

(事務局) 最近の流行で、アメリカの出版物を真似したペーパーバックの本が増えています。従来 of 裏に布を貼った表紙が付いている本は丈夫で長持ちしますが、紙でくるんだだけの本は、壊れやすいようです。

(委員) 多摩高校のビブリオバトルは、校内で行われたものですか。

(事務局) そうです。都内の高校の対抗の大会に向けて、校内で予選が行われ、審査員として招かれました。図書館の利用促進や展示についても相談したいとお話でした。

(委員) 人材育成や研修では、周辺の図書館の職員との連携や研修が大事だと思いますが、指定管理者移行後も、研修に参加できますか。

(事務局) 指定管理者に渡す仕様書上も、人材育成については、研修に参加することを含め、積極的に行うよう求めています。

(事務局) 独自に研修を行っている事業者も多く、図書館には人材育成が大事と承知しているようです。よりいっそうの充実が図られるのではないかと期待しています。

(3) 平成27年度図書館事業実施計画について

(事務局) [資料3に基づき説明]

(委員) 今年は戦後70年、郷土博物館も企画を進めていますが、図書館ではどのようなプランやイメージを考えていますか。

(事務局) 郷土博物館や秘書広報課と連携して、本の展示だけで

はなく、資料やパネルの展示を考えています。

(委員) 郷土博物館には、陶製の湯たんぽがあって、鉄が不足していたことを物語っているわけですが、今の子どもたちには、湯たんぽの説明から始めなければなりませんね。青梅の日々の生活がどのようなものだったのか、当時の物をただ展示するよりも、写真など視覚に訴えるパネルも用意して、工夫したほうがいいと思います

(事務局) 市全体として、戦後70周年をどうするかというのがあります。郷土博物館でも、図書館でも、いろいろところで平和教育を兼ねて戦後70年を計画しています。

(委員) 生き証人のような方はいらっしゃいませんか。

(事務局) 青梅にもいらっしゃいます。以前、お話をさせていただいたこともあります。

(委員) その時代の物語があれば、耳から聞こえる世界もいいと思います。

(事務局) 戦争を体験した方は、高齢になるので、難しいかもしれませんが、元気な方を当たっているところです。

(委員) 逃げ回った方、戦争に行った方など、何人かの方にお話を聞き、朗読する会に時々出ています。毎年行われていて、会場が一杯になります。

(委員) 戦地に行った方のお話を聞くことは難しくなっていますが、子どもどもの時の話を聞けるかもしれません。

(事務局) それも考えています。

(委員) 紙芝居を作っているグループもいますね。以前、見たことがあります。

3 協議事項

(1) 青梅市図書館の指定管理者制度導入にかかる仕様書等について

(事務局) [資料4に基づき説明]

(委員) 学校図書館の支援について、指定管理者になって変わるところと変わらないところをもう少し補足してもいいと思います。

- (委員) 貸出の電子化やネットワークについてはどうですか。
- (事務局) 昨年、エクセルで蔵書を管理できるものを作り、各校に紹介しましたが、図書室にパソコンがない、インターネットに接続できるパソコンがないということでした。指定管理者からあまり経費をかけない方法が提案されたら進めていきたいと思います。
- (委員) 図書館司書がないので、なるべく関わっていただきたいと思います。
- (事務局) ボランティアもいませんか。
- (委員) ボランティアもいませんね。ボランティアがいる学校もありますが、いない学校のほうが多いですね。
- (事務局) 校内のパソコンの管理に難しいところがあります。
- (委員) 指定管理者に期待される場所なので、システム上、難しくても話をしてほしいと思います。
- (事務局) 図書館が考えるべきことなのか、教育委員会の他課で考えるべきことなのか、難しいところですが、図書館で相談を受けて、教育委員会内の他課にも伝えるというように、教育委員会内で連携することも必要です。指定管理者には、仕様書にあるサービスをすべてやってもらい、付加価値としてできるサービスもやってもらうので、仕様書には、指定管理者に求めるサービスを網羅します。
- (委員) 録音図書を毎年10冊作っていますが、ここには入っていませんね。
- (事務局) 仕様書とは別に、図書館業務マニュアルをつけて指示することができます。
- (事務局) 図書購入費をこの金額以上、点字図書を何冊というように明記することもできます。
- (委員) この内容で十分と思いますが、サービス展開については、「図書館が責任を持って行う重要なサービスのひとつであることから博物館と連携して積極的に資料の収集に努める」というように付け加えると、事業者にもわかりやすい、イメージしやすいと思います。

(委員) 指定管理者になって図書館のレイアウトが変わる、見た目に大きく違うということは起こり得ますか。

(事務局) 事業者からの提案にもよりますが、すぐに大きく変わることはないと思います。中野区を視察したところ、指定管理者が館内表示を統一したということでしたが、大きく変わったというところはありませんでした。見た目の変化を評価しようとは考えていません。

(委員) 職員の移行は、どうなりますか。

(事務局) スケジュール上は、12月の議会で指定管理者が決定し、引継ぎのために事業者がやって来るようになります。平成28年4月からは、本庁に図書館を評価する部署を置き、職員が指定管理者の評価などを行う体制を考えています。

(委員) 仕様書には、こんなに細かいことまで書かなければならないのかと思いました。

(事務局) 基本的には、仕様書により示します。仕様書にやるべきことを明記し、指定管理者になりたいという事業者からさらに付け加えてできるサービスを聞いて、選定委員会が事業者を選びます。仕様書にある以上のことができるかどうか、事業者にも得意不得意がありますが、そこも含めて事業者を選ぶわけです。そのため、仕様書には、指定管理者に求めることをすべて書いていくこととなります。

(委員) 録音図書作成委託は、ボランティアサークルではなく、NPO法人が行っているということですが、再委託の禁止には抵触しませんか。

(事務局) 仕様書上、事業者が自ら作るようにということにはなっていません。再委託にはあたらないと解釈しています。

(事務局) 業務のうち、現在、市が行っている部分については、委託することはできません。

(事務局) 仕様書についてのご意見などがありましたら、次回開催までに、メールでご連絡ください。

4 その他

(事務局) 次回協議会の開催日程について説明

(会長) 以上で、本日予定した案件は全て終了いたしました。
委員の皆様には、長時間にわたり、御協議を賜りまして大変ありがとうございました。これをもちまして、平成27年度第1回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以上